

水-53



1200701478091

追 補 第 4 號 誌

九州沿岸水路誌

第 3 改 版

追 補 第 1

昭和 6 年 12 月 刊 行

水 路 部



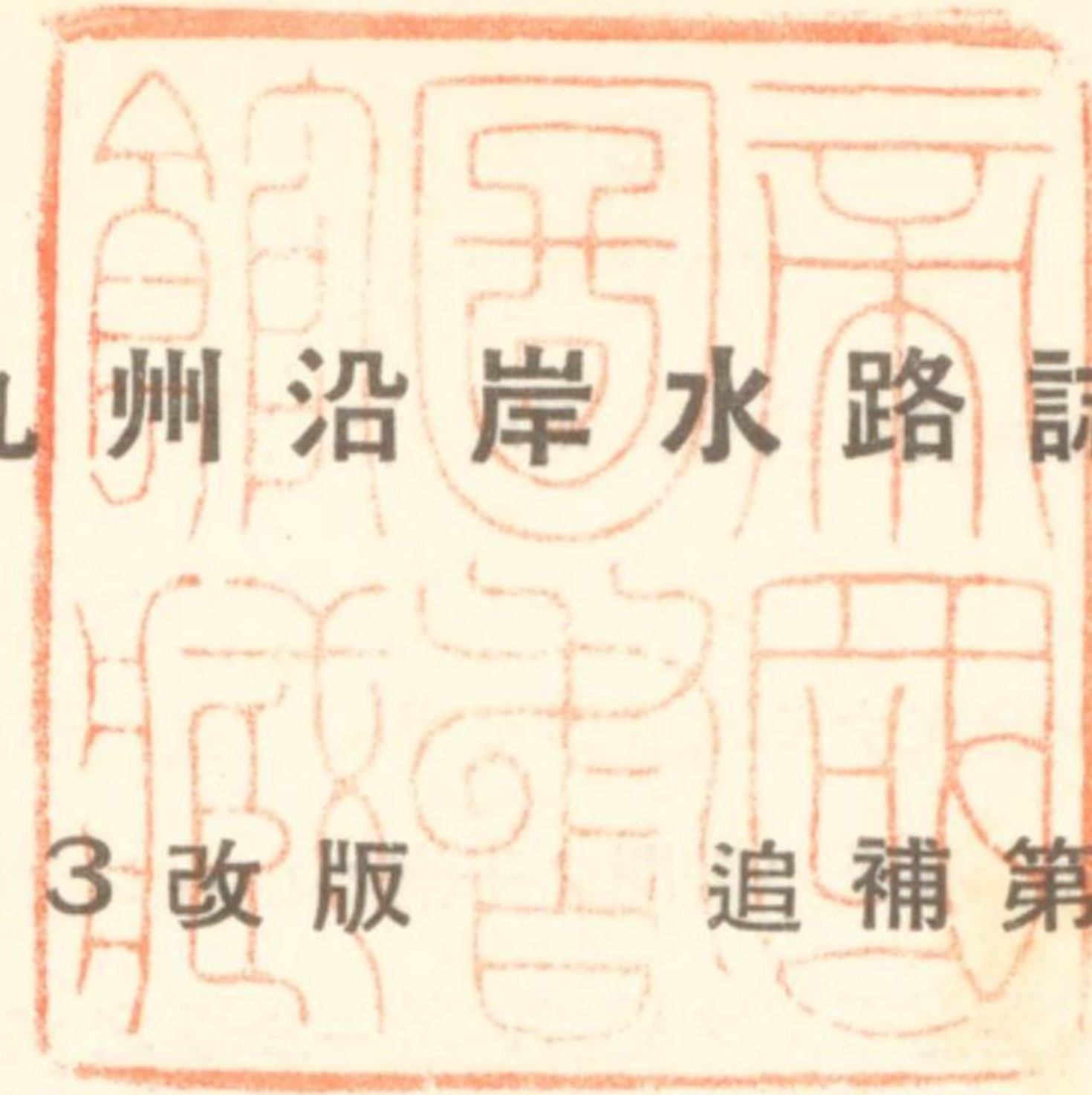
注 意

追補ヲ受領シタルトキハ下記ノ如ク取扱フモノトス。

1. 當該水路誌ノ表紙裏ニ在ル追補番號記入表ニ必要ナル填記ヲ爲ス。
2. 當該水路誌ニ貼附セル訂正用貼附紙及關係告示ニシテ同追補ニ収録セル以前ノモノハ之ヲ除去スルモノトス。
但シ一時關係告示ニシテ尙効力ヲ存スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。
3. 當該水路誌ノ關係箇所欄外ニ同追補ノ關係頁數ヲ「追補第…、…頁」ト鉛筆記入ス。
簡單ナル事項ハ當該水路誌ニ直接加筆訂正スルモ差支ナシ。
4. 追補ハ常ニ當該水路誌ノ間ニ挾ミ保管スルヲ要ス。

九州沿岸水路誌

第3改版 追補第1



本追補ハ昭和5年5月ヨリ昭和6年10月迄ノ水路告示（5年告697項至6年告1,249項）及其ノ他ノ資料ニ據リ昭和5年6月刊行ノ九州沿岸水路誌第3改版中ノ關係事項ヲ加除訂正シ之ヲ列記セルモノナリ。

昭和6年12月 水路部

頁 及 行	記 事
關係水路誌ノ沿革 目録 1頁 7行	2. ノ中 寰瀛水路誌 ノ次ニ 第1卷上下 ヲ追加ス 潮汐 ヲ 潮汐 不知火 ト改ム

頁	行	記 事
8	11次	次ノ通追加ス 不知火 古來八代海及島原海灣内有明海ニ於テ出現スト稱セラルル不知火ノ正體ニ就キ福岡縣水産試験場ニ於テ調査セシモノ



(出所、有明海干潟利用研究報告) 下記ノ如シ。

有明海ニ於テ陰曆除夜出現スト唱ヘラレ千古ノ疑問ト稱セラルル不知火ノ正體ハ、大干潮線附近ニ發生スル「タヒラギ」ヲ採取スル漁火ナリ(「タヒラギ」貝ハ干潟ニテハ大干潮線附近ニ發生ス、冬季ハ晝間ノ干潮ハ小ニシテ夜間ノ干潮ニ非ザレバ發生場附近迄干出ヲ見ズ、故ニ冬季之ガ徒チ採リヲ行ハンニハ夜間ニ於テセザルベカラズ、陰曆除夜ニ於ケル漁場附近ノ干出ハ午前2時ヲ中心トスル前後約2時間ナリ)。

而シテ之ハ

1. 今ノ肥前肥後ノ國號ノ起因タル主知ヲヌ火、筑紫ノ枕詞タル「シヲヌ火」及海上ノ不知火ノ3者ガ全ク異レルモノナルコト。
2. 八代海及有明海ニ於ケル不知火傳唱ノ起源ハ比較的新シキモノニシテ八代海ニ於テ約300年有明海ニテ約110年以來ノモノナルコト。
3. 一般ニ信ゼラルル如キ微生物ノ發光ニモ非ズ又他ノ何等ノ原因ニモ非ザルコト。
4. 大正5年ヨリ6年ニ至ル實地研究ニヨリ漁火ナルヲ確認セルコト。

等ニヨリ明瞭ニ證明スルコトヲ得。

又陰曆7月晦八代海ニ現ハルル不知火モ亦上ノ研究ヨリ類推シテ同様漁火ト認メテ誤ナシトス。

9 3

潮流微弱ニシテ ヲ削除ス

9 4

轉流ス ノ次ニルモ微弱ニシテ不定ナリ ヲ追加ス

13 28

アルモ、其ノ ヲ次ノ通改ム

アリ、遞信省燈臺局所管ノ航路標識新設、改廢、異變等一般艦船ノ航行保安上注意ヲ要スベキ緊急事項ハ東京無線電信局又ハ遞信

省所管海岸無線電信局ヨリ放送ス(15頁水路告示放送參照)、其中ノ必要ナルモノハ猶遞信省公示事項トシテ午後7時日本放送協會東京中央放送局(J O A K)ヨリ放送無線電話ニ依リテ放送シ各放送局(朝鮮、臺灣、關東州ヲ除ク)ヨリ之ヲ中繼ス(水路誌附録第1卷參照)、東洋燈臺表上卷記載ノ航路標識ニ關スル

14

27

鹿兒島(J B K) ヲ 鹿兒島 $\begin{pmatrix} J K B \\ J B K \\ J K G \\ J K A \end{pmatrix}$ ト改ム

14

27

福岡(J X F) ノ次ニ 富江(J X I)、嚴原(J X Y) ヲ追加ス

15

15次

次ノ通追加ス

緊急水路告示中必要ノモノハ午後7時東京中央放送局(J O A K)ヨリ放送無線電話ニ依リ官省公示事項中水路部公示事項トシテ放送シ各放送局(朝鮮、臺灣、關東州ヲ除ク)ヨリ之ヲ中繼ス。

17

1

施行ス、ノ次ニ次ノ通追加ス

又福岡(J O L K)熊本(J O G K)兩放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ時報ヲ行フ、

37

25至26

ノ南西方約2哩ニ水中障碍物アリ、又同角 ヲ削除ス

39

21

ニ主無線羅針局、大連埠頭ニ副 ヲ 及大連埠頭ニ ト改ム

45

25

7,043(大正14年 ヲ 6,036(昭和5年 ト改ム

46

21至22

2,300餘 ヲ 1,699(昭和5年國勢調査) ト改ム

47

22次

次ノ通追加ス

水底電線 福岡縣宗像郡神湊町大字神湊字西口ト同郡大島村字大岸トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ兩陸揚地ヨリ沖合600米迄ハ線條ノ左右各50米以內其ノ他ハ線條ノ左右各200米以內ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。

51

3次

次ノ通追加ス

航行及碇泊禁止區域 博多港修築工事施行中一般船舶ノ航行及碇泊禁止區域下ノ如シ。

頁 行

記 事

航行禁止區域

1. 博多内港沖合浚渫區域ニ於テ浚渫船及唧筒船ノ周圍半徑220米ノ圈内(甲區域)。同起重機船、混和船及潜水船ノ周圍半徑110米以内ノ圈内。
2. 博多内港北東方外側埋立區域。
3. 福岡縣廳北西方海岸地先埋立區域。
4. 荒津埼北方防波堤築造箇所。

碇泊禁止區域

上記浚渫船ノ中心ヨリ船首尾方向ニ各490米ノ位置ヨリ甲區域ノ圓周上ニ引キタル4箇ノ切線ト其ノ圓周ノ1部トニ依リテ包マルル2區域(乙區域)。

猶乙區域航行ノ際ハ作業船ノ錨鎖及浮標等ニ注意スルヲ要ス。

51 5至6 該北端ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム
113度ノ針路ヲ以テ殘島北端ニ向首スベシ、然ル時ハ西浦岬ヲ1.5
鏈以上隔テテ航過スルヲ得ベシ。

52 22 2年 ヲ 4年 ト改ム

52 23至26 ヲ次ノ通改ム

移出 17,418,026 圓 石炭、重油、揮發油、履物、和洋酒等。
移入 20,440,235 鮮魚介、木材、朝鮮米、大豆、鐵製品等。
輸出 594,427 履物、石炭等。
輸入 5,601,552 揮發油、原油、木材等。

52 28 ヲ次ノ通改ム

外國貿易 汽 船 46 146,687

53 1至3 ヲ次ノ通改ム

内國貿易	{	汽 船	3,539	776,052
		發動機船	1,938	97,956
		帆 船	2,081	114,030

頁 行

記 事

53 7 香推 ヲ 香椎 ト改ム

53 9 香椎 ヲ 宮地嶽 ト改ム

53 12次 次ノ通追加ス

福岡放送局 縣廳附近ニアリ、呼出符字J O L Kニシテ放送
無線電話ニヨリ時報ヲ行フ(東洋燈臺表上卷参照)。

53 15 港務部 ヲ削除ス

53 17至18 人口 ノ記事ヲ次ノ通改ム

人口 人口 228,289(昭和5年國勢調査)、之ヲ大正14年國
勢調査ニ比較スレバ82,284ノ増加ナリ。

53 25次 次ノ通追加ス

○昭和6年1月21日特務艦室戸ハ黑色煙突ノ354½度7鏈ニ投錨
セシガ此ノ處ハ低潮時水深9.1米底質泥ニシテ錨搔キ良好ナリシ
ト謂フ。

57 18至19 278度 以下 5鏈 迄ヲ次ノ通改ム

船尾ニ保チ278度ニ進メバ神集島ノ北方約4.5鏈

57 24 276度5分 ヲ 273½度 ト改ム

58 3 燈光 ノ次ニ 及妙見山ノ北東方ニアル木柱上ノ不動白光燈 ヲ
追加ス

58 18 2年 ヲ 4年 ト改ム

58 19至22 ヲ次ノ通改ム

移出 3,912,820 圓 石炭、醬油、火山灰等。
移入 3,827,050 鮮魚介、海産肥料、鹽魚、乾魚、鐵等。
輸出 1,695,798 石炭、火山灰等。
輸入 770,683 石炭、鐵礦、滿俺礦等。

58 24至27 ヲ次ノ通改ム

外國貿易 汽 船 265 576,766

頁	行	記 事								
		<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">内國貿易</td> <td rowspan="3">}</td> <td>汽 船 1,601</td> <td>499,340</td> </tr> <tr> <td>發動機船 39</td> <td>3,872</td> </tr> <tr> <td>帆 船 803</td> <td>49,136</td> </tr> </table>	内國貿易	}	汽 船 1,601	499,340	發動機船 39	3,872	帆 船 803	49,136
内國貿易	}	汽 船 1,601			499,340					
		發動機船 39			3,872					
		帆 船 803	49,136							
59	5	人口 ノ記事ヲ次ノ通改ム								
		人口 昭和5年國勢調査ニ依レバ唐津町ノ人口17,344アリ。								
62	17	36分 ヲ削除ス								
65	15	96度 以下ヲ次ノ通改ム								
		約96度ノ針路ヲ取り、宮崎東端ヲ約131度ニ望マ								
65	17	4分 ヲ削除ス								
65	21至22	158度 以下 中央 迄ヲ 約160度ニ採リテ高岩鼻ノ孤松 ト改ム								
67	13	39分 ヲ削除ス								
69	7	39分 ヲ 40分 ト改ム								
70	8至9	志佐ハ人口2,942(大正14年 ヲ 志佐町ハ人口3,201(昭和5年 ト改ム								
70	24	立デテ ヲ 立テテ ト改ム								
73	1	41分 ヲ 40分 ト改ム								
73	3	153度41分 ヲ 142度 ト改ム								
73	5	93度41分 ヲ 94度 ト改ム								
73	7至8	5分 ヲ削除ス								
73	9	146度41分 ヲ 147度 ト改ム								
73	12	110度41分 ヲ 111度 ト改ム								
73	14	93度41分 ヲ 94度 ト改ム								
73	24	輸 ヲ削除シ 2年 ヲ 4年 ト改ム								
73	26至28	ヲ次ノ通改ム								
		<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">入港船舶</td> <td rowspan="3">}</td> <td>汽 船 8,516</td> <td>186,767</td> </tr> <tr> <td>發動機船 60</td> <td>6,502</td> </tr> <tr> <td>帆 船 1,281</td> <td>50,854</td> </tr> </table>	入港船舶	}	汽 船 8,516	186,767	發動機船 60	6,502	帆 船 1,281	50,854
入港船舶	}	汽 船 8,516			186,767					
		發動機船 60			6,502					
		帆 船 1,281	50,854							

頁	行	記 事
74	1至2	ヲ次ノ通改ム
		移出 2,526,332圓 石炭、陶磁器、和洋酒、砂糖、米、織物等。
		移入 2,183,761 鮮魚介、鹽魚、乾魚、肥料、藥品、砂糖等。
74	4	4,733 ヲ 8,968(昭和5年國勢調査) ト改ム
74	25	39,373(大正14年 ヲ 40,220(昭和5年 ト改ム
76	6	265度32分 ヲ 265½度 ト改ム
77	11	4,042(大正14年 ヲ 4,262(昭和5年 ト改ム
80	10	平 ノ次ニ 方 ヲ追加ス
80	25	55,049(大正14年 ヲ 54,562(昭和5年 ト改ム
81	23	91度 ヲ 92度 ト改ム
82	24	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎四季ヲ通ジテ偏北風多シ、港ノ周圍ハ山高キヲ以テ吹下シトナ リ港内ハ天候好キ日ニテモ相當風強ク連吹スルコトアルモ水面ハ 小波ヲ湛フルノミニシテ靜穩ナルヲ例トス。
83	2	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎昭和5年7月驅逐艦疾風ハ耶良崎燈竿ノ261½度600米水深 14.6米底質沙泥ノ處ニ碇泊セリ。
83	10	紅塗 ヲ 白塗 ト改ム
83	22次	次ノ通追加ス
		目標 耶良崎燈竿及導燈ハ何レモ白塗木竿ニシテ周圍ノ樹木 鬱葱タル爲晝間目標トシテハ明瞭ナラズ、港口ヲ判知スルニハ支 廳北東方高地ニ立テル檣形無線電信柱(海圖未載)ヲ利用スルヲ 適當トス。
		針路法 東方ヨリ入港スル時ハ丸隈山頂ヲ274度ニ保チツツ 港口ニ達シ鶴翼山頂ト志賀鼻西方突角トヲ一線ニ望ム時之ニ向ツ テ進メバ港ノ中心錨地ニ就クコトヲ得。
84	3	2年 ヲ 4年 ト改ム

頁	行	記事
84	4至7	ヲ次ノ通改ム 移出 1,176,045 圓 鮮魚介、乾魚、礦油、食鹽、牛、煙草等。 移入 1,980,835 朝鮮米、鮮魚介、煙草、礦油、乾錫等。 輸出 91,314 雜品。 輸入 88,058 雜品。
84	9至12	ヲ次ノ通改ム 外國貿易 汽 船 0 — { 汽 船 1,531 414,122 { 發動機船 12,016 116,578 { 帆 船 286 5,248 内國貿易
84	18至19	佐須奈 以下ヲ次ノ通改ム 比田勝又ハ佐須奈ニ毎月6回以上1年期間72回以上發船シ、往復共佐世保、田助、郷ノ浦又ハ勝本、嚴原ニ寄港ス、但シ每航西泊及比田勝又ハ佐須奈ヨリ釜山ニ延航スルコトヲ得ルコトトナリ居レリ。
84	22次	次ノ通追加ス 鶏知、竹敷ニハ定期自動車ノ便アリ、大船越ニハ自動車通フモ定期ニハアラス。 嚴原無線電信局 遞信省所管ノ固定局ニシテ嚴原町東里字立石ニ在リ、主トシテ定期航空輸送ノ航空機トノ通信ニ任ズ、呼出符字JXY。
84	27	9,532 (大正14年) ヲ 9,259 (昭和5年) ト改ム
84	28	ヲ次ノ通改ム 察署、營林署、稅務署、郵便局、刑務所支所、稅關支署、港務部出張所、測候所、憲兵分駐所、築城部支部等アリ。
85	9	北東 ヲ 南東 ト改ム
85	11	344度8分 ヲ 345度 ト改ム

頁	行	記事
85	12	陸頭ニシテ高斷崖 ヲ 高角ニシテ斷崖 ト改ム
86	1,18	分圖 ヲ削除ス
90	20	176 ヲ 175 ト改ム
93	23	大島 ノ前ニ 南風ノ波瀨 (ハエノハセ) 中ノ ヲ追加ス
96	18	釜山線 以下ヲ次ノ通改ム 壹岐對馬線ヲ航スル汽船毎月6回以上就航シ比田勝又ハ當地ニ入港ス。
97	20	陸頭 ヲ 高角 ト改ム
97	27	仁田 ノ次ニ 村 ヲ追加ス
98	11	176 ヲ 1215 ト改ム
98	19	御前埼 ノ次ニ (海圖176) ヲ追加ス
112	4	頭 ノ次ニ ノ ヲ追加ス
113	21	13,631 (大正14年) ヲ 13,210 (昭和5年) ト改ム
113	27	一陸頭 ヲ 獅子駒崎 ト改ム
116	8	209度27分 ヲ 約209度 ト改ム
116	11	12分 ヲ削除ス
116	18至19	ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム ヲ通シテ白濱浦人家ノ1軒ナリトモ認メ得バ已ニ之ヲ離レ居ルノ證ナリト。
117	16	陸頭 ヲ削除ス
120	1	52度 ヲ 48度 ト改ム
120	9	頸地ヲ以テ島ノ本部 ヲ 地頸ニ依ツテ島ノ主部 ト改ム
120	10	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎黑島南端ヨリ南方ニ三角形ヲナセル障碍物沈置區域アリ。
124	4至5	95,385 (大正14年) ヲ 133,174 (昭和5年) ト改ム
124	28至	248度52分ニ保視シテ進メバ ヲ 250½度ニ見通ス線ハ ト改ム
125	1	
125	2	93度52分ニ保視シテ進メバ ヲ 294½度ニ見通ス線ハ ト改ム



頁 行

125 3 182度37分ニ保視シテ進メバ ヲ 183度ニ見通ス線ハ ト改ム

125 14至15 中浦 以下ヲ次ノ通改ム
小濱附近海岸及多以良村高帆山南西方附近海岸トノ間ニ水底電線各1條アリ。

125 21 ノ末尾ニ次ノ通追加ス
但シ芋島方面ノ錨地ニ於テハ西ケ瀬浦北東側突角及孫次郎鼻附近ヨリ南東方ニ向ヒ「オキシ」網ト稱スル長サ約800米ノ大漁網ヲ投下シアリテ毎年8月ヨリ翌年6月迄晝夜漁撈シ夜間ト雖モ點火セザルヲ以テ注意ヲ要スト謂フ（昭和6年3月刊行漁具定置箇所一覽圖 No. 341 参照）。

125 25次 次ノ通追加ス

崎戸港導燈 崎戸港ニ下記ノ如キ各3箇ヨリ成ル2組ノ導燈アリ（村立）。

「フツノ」浦導燈

前燈 不動紅光燈、光達距離9湮○燈高、礎上9.1米、平均水面上27.6米○構造、塗裝セザル木造竿柱頂上ニ白色ノ三角形標ヲ戴ク。

中燈 前燈ヨリ74.6米○燈高、礎上7.1米、平均水面上38.2米○其ノ他前燈ニ同ジ。

後燈 前燈ヨリ228.6米○燈高、礎上8.5米、平均水面上53.6米○其ノ他前燈ニ同ジ。

本導燈ハ3燈一線103度ニシテ船舶出入ノ際隨時點燈ス。

蠣ノ浦導燈

前燈 不動紅光燈、光達距離9湮○燈高、礎上10.6米、平均水面上14.7米○構造、塗裝セザル木造竿柱頂上ニ白色ノ三角形標ヲ戴ク。

中燈 前燈ヨリ約50米○燈高、礎上9.4米、平均水面上

頁 行

記 事

27.4米○其ノ他前燈ニ同ジ。

後燈 前燈ヨリ約80米○燈高、礎上9.1米、平均水面上30.1米○其ノ他前燈ニ同ジ。

本導燈ハ3燈一線43度ナリ。

125 26至
126 6

ヲ次ノ通改ム

崎戸港挂燈浮標 第1號ヨリ第4號ニ至ル4箇ノ挂燈浮標アリ（村立）。

第1號 蠣ノ浦導燈線ノ北西側外方ニアリ、不動綠光燈○光達距離5.5湮、明弧全度○燈高、水面上2.3米○構造、黒塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。

第2號 蠣ノ浦導燈線ノ南東側外方ニアリ、不動紅光燈○光達距離6.5湮、明弧全度○燈高、水面上2.5米○構造、紅塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。

第3號 蠣ノ浦導燈線ノ北西側内方ニアリ、燈質等第1號挂燈浮標ニ同ジ。

第4號 蠣ノ浦導燈線ノ南東側内方ニアリ、燈質等第2號挂燈浮標ニ同ジ。

本挂燈浮標ハ船舶出入ノ際隨時點燈ス。

126 18次

次ノ通追加ス

繫船浮標 港内ニ繫船浮標3箇アリ使用無料ナリト謂フ。

127 9次

次ノ通追加ス

水底電線 港内福浦海岸ヨリ内港ヲ横斷シ距離約100米ノ對岸網干場ニ至ル水底電線1條アリ、線條ノ左右各30米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。

127 16

村役場 ノ次ニ 郵便局 ヲ追加ス

127 16次

次ノ通追加ス

人口 昭和5年ノ國勢調査ニ依レバ崎戸村ハ人口17,248ヲ有

頁	行	記事
		ス。
130	17次	次ノ通追加ス 水底電線 七ツ釜浦北口東側小濱附近海岸ヨリ及寺島水道南方東側高帆山ノ南西方附近海岸ヨリ蠣ノ浦島中戸西方海岸ニ至ル各1條ノ水底電線アリ。
134	15	34分 ヲ削除ス
135	11	立デテ ヲ 立テテ ト改ム
136	14	1,489・89 ヲ 1,389・89 ト改ム
137	24	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和5年7月18日ノ暴風雨通過ニ際シ港内ニ於テ沈没セルモノ汽船3隻發動機船其ノ他121隻ニ及ビ在泊船舶ノ殆ド全部(407隻)ハ皆多少ノ損傷ヲ蒙リシト謂フ。
139 140	28至 3	40度57分 以下 ◎其ヨリ 迄ヲ次ノ通改ム 40度若ハ以東ニ保視スルヲ要ス、然ルトキハ高島以南ノ諸險ノ西方ヲ航シ得ベシ、既ニ高島ノ西方ニ達セバ適宜變針シテ香焼出シノ西方約1哩ヲ過ギ次デ
140	4至5	118度27分 以下 353度8分 迄ヲ次ノ通改ム 113度ニ望ミ約3哩ヲ航シ、次デ中ノ島西端ト福田崎險崖西端トヲ一線346度
140	9	2哩 以下ヲ 3哩ヨリ 119度ノ針路ヲ ト改ム
141	5	官設15箇 ヲ次ノ通改ム 官設13箇、三菱造船所所有2箇及「スタンダード」石油會社所有1箇
143	4	2年 ヲ 4年 ト改ム
143	5至8	ヲ次ノ通改ム 移出 24,683,689圓 綿絲、乾魚、絹織物、米、煙草、油類等。 移入 54,887,684 鮮魚介、大豆、乾魚、米、棉花、石炭等。

頁	行	記事
		輸出 10,630,181 石炭、精糖、綿織物、馬鈴薯、鮮魚介等。 輸入 26,300,362 線綿、硫酸安母尼亞、原油及重油等。
143	10至13	ヲ次ノ通改ム 外國貿易 汽 船 494 1,670,304 (汽 船 10,040 836,016) 發動機船 27 2,405) 帆 船 1,280 81,819
143	16	4週 ヲ 3週 ト改ム
143	17	14回 以下 香港間)ハ 迄ヲ次ノ通改ム 17回以上横濱ヲ發船シ、横濱、香港間(西廻)ニ於テ
143	18	10回 ヲ 11回 ト改ム
143	19	上海線ニ ヲ 上海線ヲ ト改ム
143	24	毎日 以下ヲ次ノ通改ム 毎月28回以上1年期間336回以上發船ス。
143	25至26	九州 以下 往復共 迄ヲ次ノ通改ム 横濱高雄線毎月2回往航、横濱「マニラ」線每20日1回往航
144	22至23	人口 ノ記事ヲ次ノ通改ム 人口 人口204,626(昭和5年國勢調査)ニシテ大正14年國勢調査ニ比較スレバ15,555ノ増加ナリ。
148	28次	次ノ通追加ス 黒母瀨燈標 黒母瀨上ニ在リ◎閃白光燈ニシテ毎3秒ニ1閃光ヲ發ス◎光達距離7.5哩、明弧全度◎燈高、礎上4.5米、平均水面上17.6米◎構造、紅黒横線塗檣形鐵造◎無看守。
149	10	198度 以下ヲ 196度ニ、飯良崎ヲ 271度ニ ト改ム
149	11	北角 以下ヲ 北端立岩ヲ僅ニ飯良崎ノ ト改ム
149	15	北角 ヲ 北端立岩 ト改ム
149	16	ヲ次ノ通改ム

頁	行	記 事
		シテ該岩ヲ 308 度ニ望ミテ入進シ鼠島ヲ 196 度ニ
150	3	黒母瀬 ノ次ニ 燈標 ヲ追加ス
150	22至24	野崎島北角 以下 3・3 鏈) 迄ヲ次ノ通改ム 「クスクリ」埼ヲ 319 度ニ、唐見崎鼻南東端ヲ 61 度ニ望ム水深 約 16.4 米ノ處
151	1至2	3 分 ヲ削除ス
151	3, 7	311 ヲ 310 ト改ム
151	6	40 度 56 分 ヲ 41 度 ト改ム
153	24	178 度 52 分 ヲ 183 度 ト改ム
153	26	浦 ヲ 村落 ト改ム
153	27	251 度 48 分ニ望ム水深 18 米 ヲ 245 度ニ望ム水深 20 米 ト改ム
153	28	232 度 7 分 ヲ 233 度 ト改ム
154	6	米岩アリ ノ次ニ 百貫瀬ト稱ス ヲ追加ス
155	14 次	次ノ通追加ス 萱場埼夜標 萱場埼内方ニ高潮面上約 30 米ナル不動白光燈 (村落ノ燈火) 存在シ夜間航行船舶ノ爲好目標トナルト謂フ。
156	20	「マナコ」 ヲ 「ママコ」 ト改ム
156	26	人口約 9,000 ヲ次ノ通改ム 昭和 5 年國勢調査ニ依レバ有川村ノ人口 8,824
158	10 次	次ノ通追加ス 水底電線 重石ノ北西方ナル若松郷小字菜切ヶ浦ト其ノ對岸 ナル宿ノ浦小字「ポツボケ」浦トノ間ニ水底電線 1 條アリ、線條 ノ左右各 30 米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
161	3	五島 ノ次ニ 佐世保 ヲ追加ス
165	22	投鉛 ヲ 測深 ト改ム
166	7	寄港 ヲ 入港 ト改ム
167	4	過グル後 299 度 45 分 ヲ 過ギタル後 300 度 ト改ム

頁	行	記 事
168	3	ノ末尾ニ 〇富江港ハ農林省補助漁港ナリ。 ヲ追加ス
168	6	ノ末尾ニ次ノ通追加ス 觀測所屋上ニハ夜間觀測用ノ爲隨時電燈ヲ點ズ〇觀測所ノ南方至 近ニ富江無線電信局ノ無線電信柱 2 基アリテ好目標ヲ呈ス。
169	6	305 度 22 分 ヲ 305 度 ト改ム
169	28	ノ次ニ次ノ通追加ス 富江無線電信局 遞信省所管ノ固定局ニシテ呼出符字 J X I。
170	2	12,701 (大正 14 年 ヲ 12,288 (昭和 5 年 ト改ム
171	7至8	榮螺島 以下 30 分 迄ヲ次ノ通改ム 庖丁島ノ東端ヲ 2 度、舊城趾ノ中學校ヲ 243 度
171	8, 11	陂 ヲ 波 ト改ム
171	21	兩 ヲ 南 ト改ム
171	22	(未完成) ヲ削除ス
172	7	南松浦郡 ヲ 長崎縣南松浦 ト改メ 9,892 以下ヲ 10,562 (昭 和 5 ト改ム
178	6	3,654 (大正 14 年 ヲ 2,098 (昭和 5 年 ト改ム
179	15	人口 1 萬餘 ヲ 昭和 5 年國勢調査ニ依レバ人口 10,569 ヲ有シ ト改ム
180	20	229 度 58 分 ヲ 230 度 ト改ム
180	23	9,219 (大正 14 年 ヲ 9,258 (昭和 5 年 ト改ム
184	15	2 年 ヲ 4 年 ト改ム
184	16至17	ヲ次ノ通改ム 移出 407,413 圓 肥料、食鹽、繭等。 移入 1,016,263 肥料、食鹽、繭、米、煙草、和酒等。
184	19	ヲ次ノ通改ム 輸入 36,802 硫酸安母尼亞等。
184	21至24	ヲ次ノ通改ム

頁	行	記	事
		外國貿易	汽船 1 1,952
		内國貿易	汽船 3,140 142,295
			發動機船 213 8,253
			帆船 2,245 127,920
185	6	8,634 (大正 14 年) ヲ 8,711 (昭和 5 年) ト改ム	
185	12 次	次ノ通追加ス	
		水底電線 横曾根北東方西有家町字松原ト天草下島佐伊津村字城廻トノ間ニ水底電線 1 條ヲ敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合 2.2 湮迄ハ線條ノ左右各 40 米以内、其ノ他ハ各 180 米以内、佐伊津側ハ陸揚地ヨリ沖合 1,200 米ニ至ル間ニ限リ各 25 米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。	
186	23	2 年 ヲ 4 年 ト改ム	
186	24 至 25	ヲ次ノ通改ム	
		移出 1,337,904 圓 食鹽、綿織物、米、和洋酒等。	
		移入 2,866,278 煙草、食鹽、肥料、米、石炭、織物類等。	
186	27 至 29	ヲ次ノ通改ム	
		内國貿易	汽船 2,833 192,644
			發動機船 2,300 24,300
			帆船 10,000 44,500
187	5 至 6	19,765 (大正 14 年) ヲ 21,540 (昭和 5 年) ト改ム	
187	18 次	次ノ通追加ス	
		峯ノ洲挂燈浮標 峯ノ洲南端上ニ在リ○閃白光燈ニシテ毎 4 秒ニ 1 閃光ヲ發ス○光達距離 9 湮、明弧全度○燈高、水面上 4.6 米○構造、黑白横線塗圓筒形、上部ニ格子製櫓ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ。	
187	23	ノ末尾ニ次ノ通追加ス	
		○第 3 號立標ノ 42 度 6 鏈ノ點ヨリ南方へ約 1 鏈ノ間水深減少ノ	

頁	行	記	事
		疑アリ (昭和 6 年)、此ノ附近ニハ大低潮時ニ干出スル個所アリト謂フ。	
187	27	2 湮 ヲ 3 湮 ト改ム	
188	14	2 年 ヲ 4 年 ト改ム	
188	15 至 18	ヲ次ノ通改ム	
		移出 2,817,470 圓 石炭、内地米等。	
		移入 95,166 和酒等。	
		輸出 455,622 石炭。	
		輸入 174,332 豆糟、油糟。	
188	20 至 23	ヲ次ノ通改ム	
		外國貿易	汽船 19 26,648
		内國貿易	汽船 229 210,602
			帆船 3,663 98,886
190	3	2 年 ヲ 4 年 ト改ム	
190	4 至 5	ヲ次ノ通改ム	
		移出 5,386,143 圓 菜子油、米、陶器、罐詰食料、清酒等。	
		移入 2,103,562 金屬及同製品、木材、藥品、「メリヤス」等。	
190	7 至 9	ヲ次ノ通改ム	
		内國貿易	汽船 217 68,235
			發動機船 47 1,472
			帆船 451 7,025
190	12	大正 14 年 以下ヲ 昭和 5 年國勢調査ノ人口 97,298 ニ達セリ。ト改ム	
192	24	ノ末尾ニ次ノ通追加ス	
		○突堤ハ其ノ全長ニ亙リ夜標無キヲ以テ暗夜ノ出入港ハ困難ナリ、又深吃水船ハ出入ニ際シ高潮時ヲ待ツノ要アリ。	
193	18	2 年 ヲ 4 年 ト改ム	
193	19 至 22	ヲ次ノ通改ム	

頁	行	記事
		移出 12,487,093 圓 亞鉛、藥品、石炭、「コークス」、機械類等。
		移入 13,761,169 砂糖、亞鉛鑛石、臺灣米、亞鉛滓等。
		輸出 10,570,287 石炭、「コールタール」、「ピッチ」、機械類等。
		輸入 4,108,080 亞鉛鑛、砂糖、石炭、棉子糟、精米等。
		(註) 昭和4年ニ於ケル石炭積出額總計1,734,000噸ナリ。
193	24至26	ヲ次ノ通改ム
		外國貿易 汽船 658 2,102,578
		{ 汽船 1,166 789,673
		{ 發動機船 15 1,766
		{ 帆船 61 7,853
193 194	28至 1	但シ 以下 操縦ス 迄ヲ次ノ通改ム
		他ニ三井鑛山會社ノ囑託トシテ船渠長ヲ兼務スル水先人1名アリ、内港岸壁及船渠内ノ繫船作業ハ船渠長ノ所掌ニ屬シ無料ナリ
194	8	三井鑛山會社、ノ次ニ 同社 ヲ追加ス
194	24次	次ノ通追加ス
		熊本放送局 熊本市外清水村龜井灰塚ニ送信所アリ、呼出符字J O G Kニシテ放送無線電話ニヨリ時報ヲ行フ(東洋燈臺表上卷参照)。
195	6	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎夏季大雨後ハ島原海灣北部ヨリノ雨水ノ爲水量加ハリ大瀬戸ノ落潮流ノ速サヲ増シ三角燈臺下海岸ニ沿ヒ西方へ流ルルモノ相當強キ爲同方向ニ壓流セラルル危険アルベキヲ以テ同季大潮ノ落潮時ノ大瀬戸通過ハ特ニ注意ヲ要スト謂フ。
196	9次	次ノ通追加ス
		南方ヨリ藏藏ノ瀬戸ヲ通過シ三角ニ入港スル場合ニハ同瀬戸外方ニ近ヅクニ從ヒ「イダ」瀬上ノ1軒家ト立能島上ノ松林トヲ一線ニ見テ(此ノ線ヨリ片島側ニ寄ラザル程度ニ)航行シ藏藏村落北

頁	行	記事
		岸ヲ左舷正横ニ見ル頃ヨリ變針シテ網取瀬ヲ避航シ、寺島燈標ト兜島トノ中間ニ向ヒ同立標ヨリ三角70米山ニ向首ノ後適宜錨地ニ向フベシ。
196	10	三角港 ノ次ニ (海圖194) ヲ追加ス
196	13	人口約5,500アリ、ヲ削除ス
196	14	ノ末尾ニ 南方際崎ニモ市街アリ。 ヲ追加ス
196	15	ヲ次ノ通改ム
		從來船舶ハ三角市街ノ前面水深10米内外ノ處ヲ錨地トナセシガ地域狹ク潮流強ク且水深キ缺點アル爲現在ハ此ノ區域(三角本港)ヲ使用セズ際崎側海面ヲ以テ一般船舶ノ碇泊地ニ充テ海陸ノ設備亦際崎ニ移サレタリ(汽船5,000噸級9隻ヲ收容シ得ト謂フ、但シ繫船設備ナシ)◎小形船舶ハ必要ニ應ジ三角市街ノ對岸
196	16	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎昭和6年4月14日軍艦夕張ハ三角燈臺ノ36度1,300米ニ投錨セシガ同艦ノ經驗ニ據レバ投錨目標トシテハ三角嶽ハ高キニ過ギテ適當ナラズ三角燈臺及瀬戸ノ鼻(39△)ヲ適當トシ猶潮流強キ場合ニハ同燈臺ニ向首投錨スルヲ可トスベシト謂フ。
196	16次	次ノ通追加ス
		三角驛附近際崎海岸ニ上陸用浮棧橋1箇アリ、長サ66米橋側水深2米ニシテ九州汽船會社ノ所有ニ屬ス。
196	22次	次ノ通追加ス
		荷役設備 舢舨船約100隻(3,000噸)アリ、陸上ノ起重機能力現在ハ約3噸ナリト謂フ◎倉庫ハ三角市街側ニ民營10棟(404坪)、際崎側ニ民營11棟(450坪)アリ。
196	23至24	物資 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		物資 際崎側ニ於ケル物資補給ノ概況下ノ如シ。
		石炭 當港出入船舶ハ多ク三池ニテ補炭ス、特ニ注文スレ

頁	行	記事
		バ三池ヨリ回送ス。
		清水 陸上ニ水道アルヲ以テ多量ノ供給ヲナスコトヲ得、 給水船（25噸乃至30噸積）3隻アリ。
		糧食 米、魚、野菜其ノ他一般ノ食料品ヲ供給シ得。
196	25	2年 ヲ 4年 ト改ム
196 197	26 至 1	ヲ次ノ通改ム
		移出 7,070,473 圓 新聞用紙、人造肥料、大豆、製造煙草等。
		移入 6,142,664 製紙原料、「パルプ」、人造肥料、大豆等。
		輸出 67,909 雜品。
		輸入 2,840,371 豆糟、磷礦石、小豆、大豆、石炭等。
197	3 至 6	ヲ次ノ通改ム
		外國貿易 汽 船 36 69,144
		(汽 船 4,146 696,518
) 發動機船 1,250 9,160
		帆 船 403 27,020
197	12 次	次ノ通追加ス
		官憲等 三角ニハ町役場、警察署、郵便局、際崎ニハ郵便局、 税關支署、警察水上派出所等アリ◎三角町ノ人口5,844(昭和5年 國勢調査)アリ。
199	4	船人島ト ノ次ニ ノ間 ヲ追加ス
200	24 至 25	6,251 (大正14年 ヲ 7,173 (昭和5年 ト改ム
201	6	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎又本渡町ノ北方佐伊津村字城廻ト湯島瀬戸ヲ隔テタル對岸西有 家町字松原トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合 2.2 哩迄ハ線條ノ左右各40米以内、其ノ他ハ180米以内、佐伊津 側ハ陸揚地ヨリ沖合1,200米ニ至ル間ニ限り各25米以内ヲ以テ 線條區域ト指定シアリ。

頁	行	記事
201	16	3,296 (大正14年 ヲ 3,192 (昭和5年 ト改ム
203	4	大會根 ノ次ニ (海圖192) ヲ追加ス
203	7	島原瀬 ノ次ニ (海圖192) ヲ追加ス
207	8	長島 ノ次ニ (海圖178) ヲ追加ス
208	10	略低潮(高潮)時ヨリ ヲ次ノ通改ム
		八代海ノ略低潮(高潮)時ヨリ八代海ノ
210	6	333度39分 ヲ 334度 ト改ム
210	7	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎昭和6年4月16日軍艦夕張ハ臺場ノ鼻ノ115度960米ノ處ニ 碇泊セシガ流潮ノ影響少ク錨搔キ良好ナリシト謂フ。
210	15 次	次ノ通追加ス
		針路法 針路315度ヲ以テ勝埼ニ向首シ次ニ295度ニテ臺場 ノ鼻ニ向ヒタル後適宜錨地ニ就ケバ諸險ヲ避クルコトヲ得。
210	17 次	次ノ通追加ス
		牛深港燈竿 牛深町附近山頂ニ5箇ノ燈竿アリ、何レモ不動 白光燈ニシテ礎上ノ燈高8.5米、明弧全度、塗裝セザル木造竿柱 上ニアリテ無看守ナリ、其ノ他ノ要目下ノ如シ。
		第1號燈竿 平均水面上122.8米 光達距離8½ 哩
		第2號燈竿 " 88.9米 " 6½ 哩
		第3號燈竿 " 48.7米 " 6½ 哩
		第4號燈竿 " 58.8米 " 6½ 哩
		第5號燈竿 " 99 米 " 8½ 哩
		燈竿ノ番號ハ北方ヨリ南方ニ向ヒ順次ニ附シアリ。
210	22	12,030 (大正14年 ヲ 12,671 (昭和5年 ト改ム
219	21	74度47分 ヲ 75度 ト改メ 2分 ヲ削除ス
219	28	2年 ヲ 4年 ト改ム
220	1 至 2	ヲ次ノ通改ム

頁	行	記 事
		移出 2,948,971 圓 「セメント」、礦油、洋紙等。
		移入 3,422,825 和酒、石炭、肥料、鮮魚介等。
220	4至 6	ヲ次ノ通改ム
		内國貿易 { 汽 船 3,652 185,634 發动机船 110 1,000 帆 船 11,000 96,550
220	7	12,904 (大正 14 年 ヲ 13,513 (昭和 5 年 ト改ム
220	15	此ノ島ノ ヲ 此ノ島ハ ト改ム
221	10	5,276 (大正 14 年 ヲ 5,362 (昭和 5 年 ト改ム
221	17	5 湮 6.5 鍾 ヲ 約 6 湮 ト改ム
221	20	田浦灣 ノ次ニ (海圖 174) ヲ追加ス
222	6,7,8	白神岩 ヲ 白神瀨 ト改ム
222	13	8,507 (大正 14 年 ヲ 8,943 (昭和 5 年 ト改ム
223	18	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎熊本縣ニ於テハ三年ヶ浦前面 (小路島ノ東方) ヲ以テ水俣港ト ナシ延長 91 米ノ防波堤ヲ築設シ港内水深ヲ 1.8 米乃至 4.8 米ニ 浚渫シ 1,000 噸級 4 隻及 300 噸級 5 隻ノ汽船ヲ同時ニ岸壁ニ繫留 セシメ得ル様設備スル計劃ヲ以テ修築中ニシテ工事期間ハ昭和 4 年以降 3 年間ノ豫定ナリト謂フ。
223	21	23,769 (大正 14 年 ヲ 25,776 (昭和 5 年 ト改ム
223	24	此ノ地 ヲ 水俣町 ト改ム
225	6	◎ ノ次ニ 南防波 ヲ追加ス
225	6 次	次ノ通追加ス 米ノ津北防波堤燈臺 北防波堤端ニ在リ◎不動白光燈◎光達 距離 8 湮、明弧全度◎燈高、礎上 6 米、平均水面上 9.4 米◎構造、 白塗四角形檜形鐵造◎無看守、縣立。
225	8	14,127 (大正 14 年 ヲ 14,930 (昭和 5 年 ト改ム

頁	行	記 事
225	11至 12	ヲ 20 行ノ次ニ移ス
227	4	戸崎 ノ次ニ 鼻 ヲ追加ス
228	10	21,187 (大正 14 年 ヲ 22,897 (昭和 5 年 ト改ム
230	13	ノ末尾ニ ◎串木野ハ農林省補助漁港ナリ。 ヲ追加ス
230	15	23 分 ヲ削除ス
230	16	22 分 ヲ削除ス
231	1	鼻 ヲ 端 ト改ム
231	4, 5	13 分 ヲ削除ス
235	8至 9	其ノ附近 以下 ◎ 迄ヲ次ノ通改ム 下甌村ノ主村落ナリ、下甌村ハ手打ノ外長濱、青瀨、片之浦及瀨 々浦等ノ村落ヲ含ミ人口總計 12,383 (昭和 5 年國勢調査) アリ◎ 手打ニ於ケル
238	23	多岩アリ ヲ 岩多シ ト改ム
238	28	距濱 以下 又 迄ヲ次ノ通改ム 浦ノ中央ヲ通ジ水底電線敷設シアルヲ以テ適當ナル錨地ヲ求ムル コト難シ、
240	22	航通 ヲ 通航 ト改ム
241	14	投鉛 ヲ 測深 ト改ム
246	13	側 ヲ 測 ト改ム
246	19 次	次ノ通追加ス 枕崎港島堤燈臺 延長約 94 米ナル新設防波堤ノ西端ニ在リ ◎不動紅光燈、明弧全度◎光達距離 11.5 湮◎燈高、礎上 9 米、 平均水面上 11.6 米◎構造、圓形混凝土造◎無看守。
247	2	24,920 (大正 14 年 ヲ 27,239 (昭和 5 年 ト改ム
247	25至 26	ヲ次ノ通改ム ル、此ノ岬ヨリ稍離レタル東西兩側ニ於テハ 200 米等深線ハ距岸 約 5 湮ニ存在スルニ反シ此ノ岬附近ニアリテハ距岬僅ニ 1 湮ノ處

頁	行	記事										
		モ既ニ水深 200 米ヨリ深シ。										
248	14	247 頁 ヲ 上掲潮流及海流ノ記事 ト改ム										
249	9至19	ヲ削除ス										
250	1	15 分 ヲ削除ス										
250	22	2 年 ヲ 4 年 ト改ム										
250	23至24	ヲ次ノ通改ム										
		移出 2,076,554 圓 内地米、葉煙草、木材、菜子、木炭等。										
		移入 2,287,820 藥品、石炭、肥料、製造煙草、砂糖等。										
250	26至28	ヲ次ノ通改ム										
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">内國貿易</td> <td>汽 船</td> <td>2,739</td> <td>213,417</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>204</td> <td>4,862</td> </tr> <tr> <td>帆 船</td> <td>561</td> <td>16,222</td> </tr> </table>	内國貿易	汽 船	2,739	213,417	發動機船	204	4,862	帆 船	561	16,222
内國貿易	汽 船	2,739		213,417								
	發動機船	204		4,862								
	帆 船	561	16,222									
252	21	人口 10,221 (大正 14 年 ヲ 山川町ノ人口 11,363 (昭和 5 年 ト改ム										
257	6	2 年 ヲ 4 年 ト改ム										
257	7至10	ヲ次ノ通改ム										
		移出 38,902,013 圓 製造煙草、綿織物、内地米、葉煙草等。										
		移入 39,329,517 綿織物、砂糖、鯉節、臺灣米、金屬等。										
		輸出 144,921 木材、乾魚、菜子油等。										
		輸入 7,328,096 獸骨、大豆、菜子糟、豆糟、碎米等。										
257	12至15	ヲ次ノ通改ム										
		外國貿易 汽 船 108 158,689										
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">内國貿易</td> <td>汽 船</td> <td>7,811</td> <td>648,759</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>7,601</td> <td>124,740</td> </tr> <tr> <td>帆 船</td> <td>260</td> <td>8,106</td> </tr> </table>	内國貿易	汽 船	7,811	648,759	發動機船	7,601	124,740	帆 船	260	8,106
内國貿易	汽 船	7,811		648,759								
	發動機船	7,601		124,740								
	帆 船	260	8,106									
257	16至18	ヲ次ノ通改ム										
		交通 鹿兒島港ヲ起點、終點又ハ寄港地トスル命令航路下ノ										

頁	行	記事																		
		如シ。																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>線名</th> <th>回数</th> <th>起點港 終點港</th> <th>受命者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遞信省 命令航路 鹿兒島那覇線</td> <td>毎週 2 回以上 1 年期間 104 回以上</td> <td>鹿 兒 島 那 覇</td> <td>大阪商船會社</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鹿兒島縣 命令航路</td> <td>五 箇 島 線</td> <td>毎 月 3 回 以上 1 年 期 間 42 回 以上</td> <td>名 瀨 (大洋商船會社 供利又ハ赤佐 大島汽船會社)</td> </tr> <tr> <td>十 島 線</td> <td>毎 月 1 回 以上 1 年 期 間 12 回 以上</td> <td>名 瀨 鹿 兒 島 大洋商船會社</td> </tr> <tr> <td>種 子 島 線</td> <td>毎 月 14 回 以上 1 年 期 間 168 回 以上</td> <td>鹿 兒 島 官 ノ 浦 (鹿兒島商船會社 九州商船會社)</td> </tr> </tbody> </table>	線名	回数	起點港 終點港	受命者	遞信省 命令航路 鹿兒島那覇線	毎週 2 回以上 1 年期間 104 回以上	鹿 兒 島 那 覇	大阪商船會社	鹿兒島縣 命令航路	五 箇 島 線	毎 月 3 回 以上 1 年 期 間 42 回 以上	名 瀨 (大洋商船會社 供利又ハ赤佐 大島汽船會社)	十 島 線	毎 月 1 回 以上 1 年 期 間 12 回 以上	名 瀨 鹿 兒 島 大洋商船會社	種 子 島 線	毎 月 14 回 以上 1 年 期 間 168 回 以上	鹿 兒 島 官 ノ 浦 (鹿兒島商船會社 九州商船會社)
線名	回数	起點港 終點港	受命者																	
遞信省 命令航路 鹿兒島那覇線	毎週 2 回以上 1 年期間 104 回以上	鹿 兒 島 那 覇	大阪商船會社																	
鹿兒島縣 命令航路	五 箇 島 線	毎 月 3 回 以上 1 年 期 間 42 回 以上	名 瀨 (大洋商船會社 供利又ハ赤佐 大島汽船會社)																	
	十 島 線	毎 月 1 回 以上 1 年 期 間 12 回 以上	名 瀨 鹿 兒 島 大洋商船會社																	
	種 子 島 線	毎 月 14 回 以上 1 年 期 間 168 回 以上	鹿 兒 島 官 ノ 浦 (鹿兒島商船會社 九州商船會社)																	
		上記ノ外鹿兒島港ヲ出入スル定期船ニハ下記各線アリ。																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>線名</th> <th>回数</th> <th>經營者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪鹿兒島線</td> <td>毎奇數日大阪發 毎偶數日鹿兒島發</td> <td>大阪商船會社</td> </tr> <tr> <td>大島各島線 (鹿兒島與論島間)</td> <td>毎月約 9 回</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>灣内航路船 (鹿兒島古江間)</td> <td>1 日 2 回鹿兒島發</td> <td>(鹿兒島灣内汽船會社 九州商船會社)</td> </tr> </tbody> </table>	線名	回数	經營者	大阪鹿兒島線	毎奇數日大阪發 毎偶數日鹿兒島發	大阪商船會社	大島各島線 (鹿兒島與論島間)	毎月約 9 回	"	灣内航路船 (鹿兒島古江間)	1 日 2 回鹿兒島發	(鹿兒島灣内汽船會社 九州商船會社)						
線名	回数	經營者																		
大阪鹿兒島線	毎奇數日大阪發 毎偶數日鹿兒島發	大阪商船會社																		
大島各島線 (鹿兒島與論島間)	毎月約 9 回	"																		
灣内航路船 (鹿兒島古江間)	1 日 2 回鹿兒島發	(鹿兒島灣内汽船會社 九州商船會社)																		
257	21	海岸局 ノ次ニ (固定局ヲ兼ヌ) ヲ追加ス																		
257	24	◎ ノ次ニ 海岸局トシテノ ヲ追加ス																		
258	5	124,734 (大正 14 年 ヲ 137,236 (昭和 5 年 ト改ム																		
262	棚外	221 ヲ削除ス																		
262	2	ノ末尾ニ次ノ通追加ス																		
		但シ志布志町前面ニ於テハ本頁記載ノ暗岩區域アルヲ以テ注意ヲ要ス、猶長濤來襲スル時ハ特ニ志布志町前面ニアリテハ錨泊中ト雖モ船體ノ動搖ヲ免レズ。																		
262	11	ノ末尾ニ次ノ通追加ス																		
		◎猶昭和 6 年 9 月上記 10.5 米暗岩ヨリ 117 度 1,700 米水深 20 米ノ地點附近海底ニモ岩礁多ク特ニ鎖錨ノ搦ミ易キ岩アルヲ發見セリ、依テ此ノ附近ハ錨地トシテ不適當ナルヲ知ルベシ。																		
262	11 次	次ノ通追加ス																		
		志布志港導燈 低燈高燈ノ 2 箇ヨリ成リ低燈ノ紅光分弧ハ鯨																		

頁 行

記 事

瀬及「カマ」瀬（名稱圖載シアラズ）等ノ危険區域ヲ標示ス、何レモ無看守ナリ。

低燈 權現島南東方防波堤南端ニアリ○不動白光燈ニシテ紅光分弧アリ、光達距離 11 哩○燈高、礎上 9.1 米、平均水面上 10.9 米○明弧 295 度至 0 度間紅光、0 度至 15 度間白光、15 度至 40 度間紅光、40 度至 295 度間白光○構造、白塗六角形鐵造櫓。

高燈 低燈ヨリ 7½ 度 508 米ニアリ○不動紅光燈ニシテ光達距離 9 哩○燈高、礎上 6.1 米、平均水面上 58.4 米○明弧全度○構造、紅塗竿柱。

志布志港口導燈 前燈後燈ノ 2 箇ヨリ成リ何レモ明弧全度ニシテ白塗菱形頭標附木造竿柱（塗裝セズ）上ニ掲ゲラレ無看守ナリ。

前燈 權現島東方約 360 米ニアリ○不動綠光燈ニシテ光達距離 5 哩○燈高、礎上 7.6 米、平均水面上 9.4 米。

後燈 前燈ヨリ 27 度 40 分 100.4 米ニアリ○不動紅光燈ニシテ光達距離 5.5 哩○燈高、礎上 7.6 米、平均水面上 17.4 米。

志布志港針路法 志布志築港内ニ入港セントスル船舶ハ志布志港導燈ノ低燈及高燈ヲ一線ニ望ミテ港口ニ進ミ同線上低燈ヲ距ル約 148 米ノ點ニ達セバ志布志港口導燈ノ前後兩燈（綠紅燈）ヲ一線ニ望ミテ進行スベシ、然ル時ハ南防波堤端ノ西方約 25 米ニアル暗礁ヲ避クルヲ得ベシ。

志布志港ノ修築 大正 8 年 12 月縣費支辨港灣トシテ工事ニ着手シ長サ 227 米ノ南防波堤、154.5 米ノ西防波堤及 288 米ノ防沙堤ヲ築造シ以テ港内總面積 22,030 坪ヲ得港内水深ヲ 4.5 米ト 1.2 米トニ浚渫シ 12 年ノ日子ヲ經テ漸ク昭和 6 年 3 月竣工ヲ見タリ。

志布志入港船舶 昭和 4 年ニ於ケル志布志港入港船舶數量下

頁 行

記 事

ノ如シ。

	隻數	噸數
汽 船	4,913	115,995
發動機船	209	12,540

262 12 17,497（大正 14 年 ヲ 18,120（昭和 5 年 ト改ム

263 14 在リ、ノ次ニ 當港ハ農林省補助漁港ニシテ ヲ追加ス

263 24 飯埼以南ト ヲ 飯埼ト ト改ム

263 28 約 7 哩、紅光約 4 哩 ヲ 9 哩、紅光 6.5 哩 ト改ム

264 9 防波堤頭燈竿 ヲ 防波堤燈竿 ト改ム

264 10 ヲ次ノ通改ム

○燈高、礎上 7.8 米、平均水面上 10.5 米○構造、白塗四角形混凝土造○無看守、縣立。

264 15 ノ末尾ニ次ノ通追加ス

○更ニ新ニ修築計劃ヲ樹テ縣營ヲ以テ昭和 6 年起工昭和 9 年竣工ノ工事ヲ行フ豫定ナリト謂フ。

264 22 2 年 ヲ 4 年 ト改ム

264 23 至 24 ヲ次ノ通改ム

移出 4,784,231 圓 木炭、鮮魚介、木材、内地米等。

移入 3,000,659 絹及綿織物、金屬製品、漁網、製造煙草等。

264 26 至 28 ヲ次ノ通改ム

内國貿易	汽 船	426	371,277
	發動機船	41,944	670,728
	帆 船	89	5,898

265 1 次 次ノ通追加ス

人口 油津町ノ人口 7,883 アリ（昭和 5 年國勢調査）。

267 21 此ノ瀬戸 ヲ 小戸ノ瀬 ト改ム

268 24 至 25 42,945（大正 14 年 ヲ 54,600（昭和 5 年 ト改ム

頁	行	記 事										
270	13 次	次ノ通追加ス 縣營ニ據ル港灣修築埋立工事完成シ鐵道引込線倉庫等ノ陸上設備アリ、埋立地ノ前面ニハ長サ約 80 米ノ新設浮棧橋アレドモ未ダ燈標ノ設備ナシ。										
270	20	行數ヲ示ス數字 0 ヲ 20 ト改ム										
270	22	山ノ瀬 ヲ 山ヶ瀬 ト改ム										
271	4 至 5	ヲ次ノ通改ム 細島港棧橋燈竿 港内浮棧橋ノ先端及中部ニ不動白光 2 燈(電燈)ヲ掲グル燈竿各 1 基アリ。										
271	7	棧橋ノ突端 ヲ 此ノ棧橋 ト改ム										
271	10	2 年 ヲ 4 年 ト改ム										
271	11 至 12	ヲ次ノ通改ム 移出 5,336,818 圓 硫酸安母尼亞、藥品、木炭、椎茸、木材等。 移入 5,747,644 毛織物、綿織物、金屬及同製品、自動車等。										
271	14 至 16	ヲ次ノ通改ム <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">内國貿易</td> <td>汽 船</td> <td>828</td> <td>242,280</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>3,668</td> <td>52,490</td> </tr> <tr> <td>帆 船</td> <td>492</td> <td>37,634</td> </tr> </table>	内國貿易	汽 船	828	242,280	發動機船	3,668	52,490	帆 船	492	37,634
内國貿易	汽 船	828		242,280								
	發動機船	3,668		52,490								
	帆 船	492	37,634									
271	19	3,934 (大正 14 年 ヲ 4,103 (昭和 5 年 ト改ム										
271	20	番所鼻 ヲ 町ノ中央觀音寺境内 ト改ム										
271	21	アリ 以下ヲ ノ建物ヲ存ス。ト改ム										
271	22	竹島 ノ次ニ 餘島(島頂ニ著シキ 1 松樹アリ) ヲ追加ス										
271	26	ヲ次ノ通改ム 方約 2.5 鏈ニ龜瀬ト稱スル水深 4.8 米及 5.1 米ノ暗岩アリ、「イタイ」碇ノ南方 3 鏈餘ニハ平瀬ト稱スル最少水深 10.7 米ノ淺礁アリ、又餘島ノ北北東方 2 鏈ニ高サ 3.4 米ノ露岩アリ「ユルギ」碇ト稱ス。										

頁	行	記 事										
271	28	昭和 5 年ノ調査ニ依レバ灣首門川尾末村ノ人口 11,117、村落ノ南端ニ近ク長サ 200 米ノ防波堤アリテ其ノ突端ニ高サ約 7 米ノ不動紅光燈ヲ有ス、此ノ村ヨリ野菜及魚類ヲ得ベシ。										
271	28	茂生ス ノ次ニ次ノ通追加ス 此ノ島ニ接シ立岩ト稱スル 1 岩屹立ス高サ 52 米ニシテ顯著ナリ、										
271	28	23 ヲ 24 ト改ム										
272	1	水深 以下ヲ次ノ通改ム 中瀬ト稱スル水深 6.2 米ノ暗礁アリ、此ノ島ト其ノ東方約 2 鏈ニアル水深 9.9 米ノ暗岩トノ間ニハ水深 1.4 乃至 5.6 米ノ淺礁點在ス。										
272	24	2 年 ヲ 4 年 ト改ム										
272	25 至 26	ヲ次ノ通改ム 移出 933,838 圓 銅、鮮魚介、葉煙草、繭、木材、鯉節等。 移入 1,357,473 絹及綿織物、和洋酒、金屬製品、麻織物等。										
272	28 至 273	ヲ次ノ通改ム <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">内國貿易</td> <td>汽 船</td> <td>1,815</td> <td>750,484</td> </tr> <tr> <td>發動機船</td> <td>7,485</td> <td>67,365</td> </tr> <tr> <td>帆 船</td> <td>706</td> <td>20,672</td> </tr> </table>	内國貿易	汽 船	1,815	750,484	發動機船	7,485	67,365	帆 船	706	20,672
内國貿易	汽 船	1,815		750,484								
	發動機船	7,485		67,365								
	帆 船	706	20,672									
273	3	1 回 ノ次ニ 及大阪細島線ヲ航スル汽船毎日 1 回 ヲ追加ス										
273	15	4,386 (大正 14 年 ヲ 30,897 (昭和 5 年 ト改ム										
276	4, 7, 10	名古屋鼻 ヲ 名護屋鼻 ト改ム										
279	3	3,866 (大正 14 年 ヲ 3,885 (昭和 5 年 ト改ム										

頁	事 記
地名索引 3頁右欄	Haedomari 南風泊 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Haenoha Se 南風ノ波瀬……………93
6頁左欄	Hyakkan-isi Kô 百貫石港 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Hyakkan Se 百貫瀬……………154
8頁右欄	Kawati Wan 川内灣 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Kayaba Saki 萱場埼……………155
12頁左欄	Makurazaki Wan 枕崎灣 ノ次ニ次ノ通追加ス
	Mamako Se ママコ瀬……………156
12頁右欄	Mieke Kô 三池港 ヲ Miike Kô 三池港 ト改ム
19頁右欄	Sirakami Iwa 白神岩 ヲ Sirakami Se 白神瀬 ト改ム
20頁右欄	————— 竹子島 (江ノ島) ノ次ニ次ノ通追加ス
	————— 筍島 (有川灣)……………156

(終)

昭和六年十二月二十二日 印刷
 昭和六年十二月二十四日 發行

發 行 者 水 路 部

東京市京橋區築地五丁目

印 刷 者 水 路 部

東京市京橋區築地五丁目

販 賣 所

東京市麴町區丸ノ内二丁目二十番地ノ一	日本郵船株式會社
橫濱市中區海岸通り三丁目九番地	同 橫濱支店
名古屋市中區天王崎町四番地	同 名古屋支店
大阪市西區川口町二十六番地	同 大阪支店
神戸市神戸區海岸通り一丁目十番地	同 神戸支店
門司市門司字棧橋通り一番地ノ一	同 門司支店
長崎市常磐町四番地	同 長崎支店
函館市船場町十九番地 (近海郵船株式會社函館支店)	同 函館代理店
小樽市手宮町三丁目十五番地 (近海郵船株式會社小樽支店)	同 小樽代理店
臺灣基隆市明治町一丁目八番地 (近海郵船株式會社基隆支店)	同 基隆代理店
朝鮮釜山府大倉町一丁目六番地 (朝鮮郵船株式會社釜山支店)	同 釜山代理店
大連市山縣通り百八十一番地	同 大連出張所
中華民國上海黃浦灘路第三十一號	同 上海支店
神戸市明石町三十二番地	日本船主協會

(定價金貳拾錢)

